

連載 登録医のご紹介

ベルランド総合病院広報誌「ベルフォーラム」

Bell Forum

地域と職員とともに栄えるチーム

日本医療機能評価機構
病院機能評価 更新

2019
Autumn
No. 65

TOPICS

臨床研修室 ご紹介

初期臨床研修医による夜間看護体験

レディース外来、レディース病棟のご紹介

女性限定健康塾 開催しました

新人野外研修に行ってきました

送迎バスに関するお知らせ

日本医療機能評価機構 病院機能評価 更新



病院機能評価とは、診療内容、療養環境、患者サービスの質を第三者機関が審査し、一定水準に達している病院に認定証を発行する制度です。当院は、平成10年に全国に先がけて日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審し、認定を受けました。その後5年ごとに再受審し、認定を受けております。

今般、同機構の病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)を、2019年1月15日から16日の2日間にわたって受審し、「一般病院2(主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療をささえる基幹的病院)」の種別・区分での認定を受けました。

評価を受けた中でも、最も秀でているSの評価をいただいた4部門を紹介いたします。

『患者等の急変時に適切に対応している』

集中治療室(ICU) 科長 山岡恭子

2014年に続き、“患者等の急変時に適切に対応している”の項目でS評価を頂くことができました。

院内緊急時のコール(スタットコール)に加え循環器系の急変に対しては「レッドコール」を運用し、循環器チームが緊急対応できる体制を整えています。さらに、院内のコメディカルスタッフも緊急招集時には駆けつけ、それぞれの専門分野の力を発揮しチームで急変時対応に取り組んでいます。

また、2017年より看護師の院内急変時対応能力向上のためRRT(rapid response team)ワーキング活動を開始しました。救急看護、集中ケア認定看護師が中心となり病棟の特徴を活かした急変時対応シミュレーション、臨床判断

力を向上させるための勉強会や実際の急変事例の振り返りを実施しており、活動が活発で実践的に行われていることを高く評価して頂きました。今後とも、高度急性期病院の質の高い急変時対応を目指し取り組んでまいります。



急変時対応
シミュレーション

『救急医療機能を適切に発揮している』

集中治療室(救急・血管造影室) 科長補佐 友田新二

当センターでは、24時間365日断らない救急医療の提供に向け、スタッフ教育・部署体制を整え、スタッフ一丸となって救急患者の受入れを行っています。具体的には、地域密着を掲げ、ハートコールや脳卒中コールなどの特殊コールにおける重症患者対応や、ドクターカーによるプレホスピタルケアからインホスピタルケアの提供など、多様な救急医療と看護を実践しています。そして、患者さんの早期社会復帰を目標に、早期診断・早期治療を実現すべく、スタッフ全員が同じ気持ちで取り組んでいることが、何よりの強みと考えます。

また管轄内救急隊と共に症例検討会を通じて、よりシ-

ムレスな救急受入れの実現に向け日々努力しています。これからも患者さん、ご家族の方々が、より安心して暮らせる地域にすべく、私達にできる最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、日々精進していきたく思います。



堺市消防との
合同症例検討会

『画像診断機能を適切に発揮している』

放射線室 技師長 鈴木賢昭

当院では放射線診断部門が中心となり(公社)日本診療放射線技師会が認定する「医療被ばく低減施設認定」を2006年に取得し(全国6番目)、患者さんと職員に対し安全・安心な放射線診療の提供を行ってまいりました。病院建て替え時の立案では、安全性と効率性を最優先とし、特に放射線科医とメディカルスタッフの連携に重点を置いたレイアウトや、装置選定を行いました。その結果、作業環境の向上により造影検査時の安全管理やレポート作成が大きく改善し効率性が向上しています。

今回、これらの低侵襲な放射線診療の提供と、迅速なレポート作成体制および認定資格者を配置した品質管理が高

く評価されました。これからも、地域のリーディング施設であり、地域の放射線室として安全で高品質な放射線診療を提供してまいります。



中央放射線部

『医療機器管理機能を適切に発揮している』

臨床工学室 室長 茨田友香

前回に引き続き、S評価を頂く事が出来ました。特に《安全》と《教育》に対する日頃の取り組みを評価頂きました。

臨床工学室では、院内全ての医療機器の購入から廃棄までを一元管理しています。私達は全ての機器の点検、可能な限りの修理を院内で行っており、安全を担保するために、メーカーの研修等を積極的に受講し、知識・技術の向上に励んでいます。

また、新人看護師への少人数・体験型の医療機器の取り扱いに関する研修を行っていることに対し、実践に即した地道な活動を行っていることと評価頂きました。

今回、機器管理だけではなく、在宅診療の一環として始めたペースメーカー遠隔モニタリングや臨床工学室内にあ

る生体情報モニター等で、緊急時対応を迅速に行っていることに対しても高く評価されました。

今後も安全、安心を提供できる臨床工学室であるよう努力致します。



人工呼吸器修理



使用後点検

『地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療連携施設等と適切に連携している』

地域医療連携室 室長 中野素宏

当院は、平成16年に地域医療支援病院の承認を受け、現在は紹介率・逆紹介率ともに80%を超える高水準を維持しています。

総合相談センターでは、地域医療連携室・入退院支援センター・がん相談支援センター・医療福祉相談室・患者様相談を一体配置しています。当センターを中心に、連携施設のリーフレットの設置、ホームページ上での概要紹介、受託検査の受入、紹介患者送迎サービス、地域連携パス等の様々な医療連携強化を、病院全体で取り組んでいます。また、400件を超える登録医の先生方を訪問する際は、可能な限り診療部長も同行し、顔の見える関係づくりに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、地域の先生方より、多い月では2,600件のご紹介をいただくこともあります。また、地域の医療従事者を対象としたセミナーは、平成30年度には23講演行い、述べ1,500名の方にご参加いただきました。さらに、市民対象のセミナーも定期的実施しており、今年は400名を超える市民の方にお越しいただいています。

今後さらなるパワーアップを目指して、より地域に信頼される病院になるべく努力してまいります。

年1回、地域に出張して
市民公開講座を開催しています



ベルランド総合病院 臨床研修理念

上質なる人間である上に 「良き」医師たれ

臨床研修室 ご紹介

初期臨床研修とは、「国家資格である医師免許を取得した後、2年間にわたって大学病院または臨床研修指定病院で医師としての経験を積む」ことであり、法律で義務付けられた研修です。当院では、現在の臨床研修制度が開始された2004年から今までに、大学病院からの派遣研修も含め計116名の研修医を受け入れております。

初期臨床研修医にとって医師免許取得後の2年間は、これからの長い医師人生において通過点ではありますが、医師としての骨格が決まる重要な時期といっても過言ではありません。臨床研修室は、医学生の間から各々の診療科医師へ巣立つまでのサポートを行っています。

また当院は、臨床研修に関しても外部評価を受けており「卒後臨床研修評価機構認定病院」に指定されています。毎年募集定員数の約4倍の応募があり、なおかつ毎年フルマッチし、外部評価に加え、多職種360度評価を行っているなど高い評価を受け、今年度は大阪府から1名増員し7名の枠が認可されました。

研修内容は、7年以上の臨床経験があり指導医講習会を受講した指導医のもと、多くの疾患を経験することが求められます。これも一重に、地域の皆さまのご理解ご協力があったの事であり、今後とも宜しくお願い致します。

臨床研修室 木津昌子

同窓会の様子

外部講師による
講演会

Medical English 講座

錬磨

初期臨床研修医による 夜間看護体験

先日、病棟の看護師さんと一緒に夜勤を体験する実習を受けました。夜勤業務の大まかな流れは、申し送り、夕食の配膳・食事介助、夜の点滴の準備と投与・回収、おむつ交換、体位変換、ナースコールの対応、朝の採血、朝食の配膳などです。だいたいの業務内容は自分でもわかっていたつもりでしたが、実際に体験してみると、『毎日処方していた抗生剤はこうやって準備されていたのか』『体位変換はこのように行われていたのか』等、たくさんのことを学ぶことができました。

なかでも印象的だったのは、深夜の自分の身体のしんどさです。仮眠を一時間半ほど頂きましたが、寝た感じが全くなく、その後も眠気で倒れそうになりました。そんな中でのナースコールの嵐です。30分おきに介助が必要な方もいたり、ベッドの傾き加減がなかなか決まらず、何度も微調整のために訪室したり、夜間せん妄があり眠れない患者さんの散歩に付き添ったりなど、日中接している時とは想像もできないほど、夜間には様子が変わっていました。それでも、看護師さんは大変そうな態度を全く見せず、患者さんからのコールに親身に対応していました。その姿を目の当たりにして、すごいなと思い、尊敬の念すら覚えました。

夜間の患者さんの状態、医師が見ていない姿も観察しているのは看護師さんだということを改めて認識し、これからの診療では、スタッフとのコミュニケーションを大切にしようと思いました。

1年次初期臨床研修医 安里 江利菜



大型商業施設「トナリ工柵・美木多」に
泉北最大級の医療モールがオープン



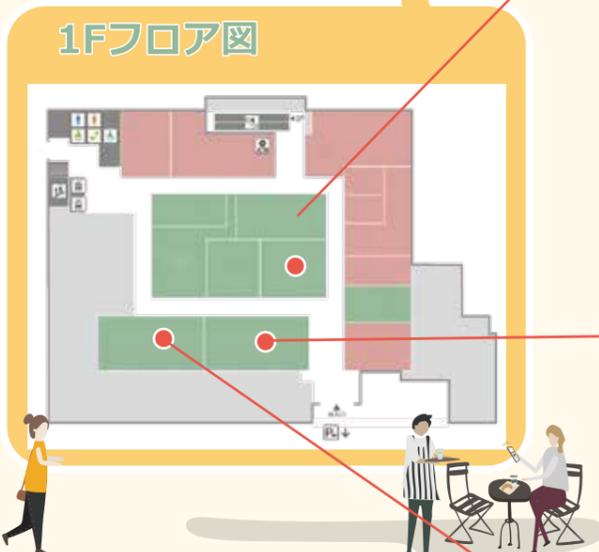
泉北最大級の医療モールが柵・美木多駅前にオープンしました。
当院の新しい登録医の先生方をご紹介します！

access



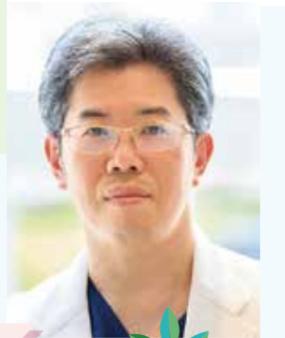
tonarie柵・美木多
住所：大阪府堺市南区原山台2-2-1
TEL：072-284-8716

泉北高速鉄道線「柵・美木多」駅前／徒歩1分
「柵・美木多」駅の改札口出て右折、
原山台方面へ。



くわばら腎泌尿器科

院長 桑原 伸介 先生
くわばら のぶゆき



Q 診察する際に心がけていること

患者さんの訴えを十分に聞き、治療方針に納得いただけるように、わかりやすく説明することを心がけています。

Q 地域医療について

他科の先生、他職種の方々と連携をとりながら御自宅での生活を充実したものにできるように努めます。訪問診療、往診も行います。

皆さまにひとこと
泉北地区で生まれ育ち、生活している者として、地元へ貢献できるようがんばります。

趣味
読書
プロレス観戦

多田消化器内視鏡クリニック

院長 多田 和弘 先生
ただ かずひろ



Q 診察する際に心がけていること

内科診察では、とにかく患者様の顔を見ることを心がけています。ちょっとした表情から症状の重さなども伝わってきますし、目を見ながら分かりやすい言葉で丁寧に説明することが、患者様の満足度・安心度につながると考えています。内視鏡検査では、苦痛が少なく、短時間で正確な診断を行うことを目標に日々精進しています。

Q 地域医療について

近隣在住の内科疾患患者の診察はもちろんのこと、消化器内科専門医・内視鏡専門医として、周辺医療機関からの診察依頼、胃カメラ・大腸カメラの依頼もお受けしております。当院で対応しきれない患者様については、当クリニックモール内他科医院や、古巣であるベルランド総合病院をはじめ、近隣の総合病院に紹介させていただきます。

趣味
キャンプ
ダイビング
釣り

皆さまにひとこと
開業したことで自由度が上がり、勤務医時代には難しかった「患者に近い診療、必要に応じた迅速な検査」を体現できるようになり、忙しくも楽しい日々を送っています。「お腹のことなら多田先生のところへ」と言ってもらえるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

すぎもと脳神経外科クリニック

院長 杉本 圭司 先生
すぎもと けいじ



Q 診察する際に心がけていること

まずは、患者さんと患者さん家族の気持ちに同調して、訴えを聴くように心がけています。受診する患者さんの多くは、「大丈夫ですよ」という安心できる言葉を待っていると思います。その「大丈夫ですよ」を患者さんの気持ちにそって、伝えるようにしています。

Q 地域医療について

この地域の患者さんにとって、医療のベースになりたいと考えています。病気が見つかった時に病院へ送り出し、治療を終えた時には帰ってくる場になりたいと。脳神経外科という診療科にこだわらず、気軽に受診いただきたいです。

趣味
スポーツ観戦

皆さまにひとこと
スタッフ一同「人を尊重し、真摯に接し、そして貢献する」ことを心に、みなさんに寄り添い、安心して医療を受けられる、また心地よい空間を創りあげていきます。ご心配な時は、一度足をお運びください。

医療者向けセミナー 開催報告

2019年6月6日 『第7回南大阪内科カンファレンス』を開催しました

一般講演：「当院における単純ヘルペス脳炎の2例」
ベルランド総合病院 脳神経内科 副院長 菊川高行
特別講演：「神経救急におけるてんかん重積の診断と治療」
神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学分野 教授 松本理器 先生



2019年6月29日 『第19回堺・泉北呼吸器カンファレンス』を開催しました

一般講演：「退院後の呼吸リハビリテーション継続の必要性」
ベルランド総合病院 理学療法室 認定理学療法士（呼吸） 高重治
特別講演：「phenotypeから考える気管支喘息治療」
大阪市立大学 大学院医学研究科 呼吸器内科学 講師 渡辺徹也 先生





レディース外来 レディース病棟のご紹介

『レディース外来』は、乳腺疾患と婦人科疾患を中心とした専門外来です。待合室は外部から見えないようにプライバシーに配慮し、同じフロア内にマンモグラフィ室や相談室、リンパ浮腫ケアルームを配置しています。相談室では、経験豊かな看護師が疾患や治療に伴う様々な不安や悩みに対応しています。

リンパ浮腫ケアルームでは、リンパ浮腫セラピストが医師と連携し、月2回リンパ浮腫外来を実施しています。リンパ浮腫は、発症すると生活への影響が大きいため、退院後の生活を安心して過ごしていただくように、コミュニケーションを大切に個別性のあるケアの提供を心掛けています。



女性医師、女性技師が
在籍しています



病棟の
リンパ浮腫ケアルーム

カンファレンスの様子



また、『レディース病棟』は、乳腺外科・婦人科を中心とした女性専用の入院病棟です。2014年新病院移転の際に新設され、晴れた日には淡路島や六甲山まで望めるルーフガーデン、浴室やケアルームが配置され、リラックスできるよう配慮しています。

レディース病棟
ガーデンからの眺め
六甲山や明石海峡大橋まで
見渡せます



女性のライフイベントである結婚・妊娠・出産・子育て・介護など、女性としての役割を継続しながら、入院中に不安なく落ち着いた環境で療養して頂けるように、癒しの空間づくりなど細やかな心遣いとケアの提供を目標に日々看護しています。お陰様で、「静かで落ち着く」「女性だけで安心」「外の空気が吸える場所があるのは嬉しい」等のご意見を頂戴しています。

また、がん化学療法看護認定看護師、リンパ浮腫セラピスト、助産師が在籍し、手術・化学療法・放射線治療など様々な治療を受けられる患者さんの不安に対応できるように、他部門とも協働しながら、その方に合ったよりよい医療が提供できるように努めています。

さらに、外来から病棟、病棟から外来と切れ目のない看護を実践するため、医師や外来看護師・病棟看護師を含めたカンファレンスを定期的開催しています。

疾患を持ちながらも、女性らしく前向きに生きていけるように、今後とも優しさや愛に満ちた看護に努めてまいります。

レディース病棟 科長 松岡晃子



開催報告 女性限定 健康塾

「骨盤底体操をやってみよう！」
～中高年のための尿漏れセルフケア～
産婦人科 部長 大西洋子

「健康寿命」という言葉が注目されていますが、健康寿命を延ばす具体的な方法を、皆さんどのくらい御存知でしょうか？適度な運動や食事療法も大切ですが、意外に排尿の問題も大きいものです。特に女性にとって「尿漏れ」は本当にやっかいです。中高年女性の半数近くが尿漏れを自覚しているが、羞恥心から相談や受診を躊躇している人も多いのが実情です。

そこで、今回の健康塾では、この「尿漏れ」の問題を扱いました。新しい試みとして、『女性限定』講座とし、医師もスタッフもすべて女性のみで運営し、受講者を女性限定とさせていただき、男性の目を気にせず悩みを相談しやすい雰囲気作りにつとめました。

尿漏れ（尿失禁）の主なものに腹圧性尿失禁と切迫性尿失禁があり、それらの混合型もあります。いずれのタイプも子宮脱に代表される骨盤臓器脱が原因である場合も多く、健康塾では骨盤臓器脱の原因や治療について説明させていただきました。生活改善や骨盤底筋体操は、ご自分で明日からでもすぐできる方法です。軽症であれば、それだけでも十分効果が期待できます。当日は、ホールにマットを敷いて、皆さんに骨盤底筋体操を実際に体験いただきました。

骨盤臓器脱は、手術を受けたらすっきり治るというのではなく、生活習慣の改善や骨盤底筋体操で効果を持続させることが大切です。尿漏れを心配せず、いつまでも外出も運動も楽しみたいものですね。



助産師や、
皮膚・排泄ケア認定看護師、
理学療法士がスタッフとして参加しました

同日、下記の講演も行いました

更年期対策レシピ
栄養管理室
室長補佐 正木美由紀



レディース病棟のご紹介

レディース病棟
科長 松岡晃子



いっしょに 新人野外 研修

新入職員 74名、引率者 18名
計 92名で行って来ました



先日行われた新人野外研修で、兵庫県三田市にある有馬富士に行ってきました。当日は天候にも恵まれハイキングにバーベキューを楽しむ事ができました。

ハイキングでは他部署の方たちとグループを組み、1時間ほどかけて歩きました。自然の中でグループの仲間と仕事の話や学生の頃の話をし、交流を深める事ができました。

バーベキューでは、臨床研修医や放射線技師の方とも話をする機会があり、改めて多職種連携の必要性を感じました。

そしてこの研修を通して、たくさんの同期の仲間と親睦を深める事ができたと思います。この交流を大切に、これからも助け合える存在でありたいと思います。

最後にこの研修を企画して頂き、同伴して下さいました先輩方に心から感謝申し上げます。

看護部 村上哲生

新入職員の野外研修に参加させていただきました。現地まではバスで向かい、初めのプログラムであったハイキングは当日の天気も良かったため、非常に気持ちよく自然の中で楽しく会話をしながら歩くことができました。

その後行われたバーベキューでは他部署の方とグループになり、美味しい食事を楽しむだけではなく、普段自分の部署では聞けないような体験談を聞くことができ、とても良い経験になりました。

入職から間もない時期での野外研修だったので、自分の部署の同僚だけではなく、様々な部署の方との交流を持てたことは本当に有意義でした。また、自然の中での活動に気持ちがリフレッシュされ、これからの職務に前向きに取り組んでいこうと思える研修でした。

臨床検査室 川崎響太



送迎バスに関する お知らせ



津久野駅・深井駅回りの送迎バス運行ルート
を9月2日(月)より変更させていただきます。

変更後は、宮山台方面経由の深井駅回りとなりますので、
ご了承のほどよろしくお願い致します。

※津久野駅への運行は終了となります

ベルランド発	深井駅発
8:00	8:35
9:00	9:35
10:00	10:35
11:00	11:35
12:00	12:35
13:00	13:35
14:00	14:35
15:00	15:35



ルートが
新しく
なります



どうぞ
よろしくお願いいたします